

# 連想技術による新しいMLA連携基盤の構築

図書館 (Library)、美術館・博物館 (Museum)、街の記憶 (Archives) に蓄えられた文化的な情報を、連想技術で相互に関連付けて利用可能にするため、個性的な情報サービスの構築・公開を進めています。

Year	Museum 美術館・博物館	Library 本・図書館	Archives 街の記憶
2002		<b>Webcat Plus (2002.10)</b> 全国の大学図書館 1000 館の蔵書 1000 万冊を概要・目次情報で連想検索。	
2004	<b>文化遺産オンライン (2004.04)</b> 全国の美術館・博物館に所蔵された文化財 2 万点を写真付きで解説するポータルサイト。連想検索で関連作品を一覧。	<b>新書マップ (2004.06)</b> 現代的な関心を反映する新書 12000 冊をテーマ書棚に分類した読書案内。	
2005			<b>BOOK TOWN じんぼう (2005.10)</b> 世界的な本の街・神田神保町のポータルサイト。古書店 160 店の店舗情報、新刊書・古書在庫を連想検索。
2006		<b>想-IMAGINE Book Search (2006.07)</b> 本に関する様々な情報源を連想検索でつないで横断的に探索できる情報サービス。 GOOD DESIGN 2008 年度 グッドデザイン賞 受賞 第 6 回 東京インタラクティブ・アド・アワード 入賞	
2007	<b>Powers of Information (2007.06)</b> 文化財 1000 点の高精細画像アーカイブを大型タッチパネルで楽しむサービス。 第 6 回 東京インタラクティブ・アド・アワード 入賞	<b>千代田図書館 新書マップコーナー (2007.05)</b> 自分の興味のある新書を書見台に置くだけで、関連する情報が連想検索で一気に収集されるセルフリファレンス環境。	<b>神保町にタッチ (2006.10)</b> 大型タッチパネルで神保町の航空写真に手で触れながら街の魅力を発見できる。
2009	<b>国立美術館 遊歩館 (2009.06)</b> 美術館の所蔵品を自由に組合わせて新しい見方を提案する電子企画展サービス。 GOOD DESIGN 2008 年度 グッドデザイン賞 受賞		<b>本と街の案内所 神保町へ行こう (2007.10)</b> 神保町の真ん中に本と街の情報を提供する案内所を開設。同時にテーマで巡る散歩道や街の魅力を発信するポータルサイトを公開。 GOOD DESIGN 2008 年度 グッドデザイン賞 受賞
	<b>国立美術館版 想-IMAGINE (2009.06)</b> 国立美術館 4 館が公開している美術作品などのデータベースと他機関の情報とを連想的に探索できるサービス。		<b>実業史錦絵索引 (2009.07)</b> 高精細な錦絵 20 枚に書き込まれた様々な風俗や道具を、絵を手がかりに関連検索する「絵引き」サービス。 GOOD DESIGN 2009 年度 グッドデザイン賞 受賞
	<b>演劇博物館版 想-IMAGINE (2009.06)</b> 演劇博物館が公開する浮世絵などの文化財アーカイブと他機関の情報とを連想的に探索できるサービス。		<b>まちとしょテラソ (小布施町立図書館) 「想 RFID システム」 (2009.10)</b> 地域の文化的情報のアーカイブ・発信の拠点として機能する図書館構築を想・IMAGINE 技術で支援。
	<b>ゴーギャン展 インサイトビュー・コンテンツ (2009.07)</b> ゴーギャンの代表作「我々はどこから来たのか...」を対象に、絵画を構成する各種モチーフを読み解きながら、その世界へ分け入っていきける電子展示作品。		
	<b>神奈川県立近代美術館 「美術館はぼくらの宝箱」展 (2009.06)</b> 美術館の収蔵作品、学校での教育実践アーカイブ、想・IMAGINE を組合わせて、こどもたちの鑑賞体験を追究できる美術展。		
2010		<b>Webcat Plus リニューアルオープン (2010.06 公開予定)</b> 本・作品・人を手がかりに、大学図書館、公共図書館、新刊書店、古書店から情報を探り出して整理するための「電子書齋」として生まれ変わります。	